

カモシカ通信



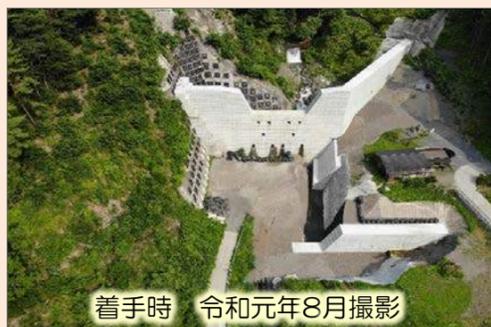
うららかな日差しのもとでさまざまな花々が咲き始めています。春をのんびりと満喫したい気分ですが、その前に、年度末は工事が完成を向かえるシーズンでもあります。今回のカモシカ通信は、飯田市上村中郷地先で、2年にわたり施工してきました「令和元年度 天竜川水系ツバタ沢砂防堰堤工事」が完成間近ですのでご紹介します。



令和元年度 天竜川水系ツバタ沢砂防堰堤工事



令和元年7月17日から始めた工事が令和3年3月に完成します。



着手時 令和元年8月撮影



令和元年11月撮影



令和2年2月撮影



令和2年5月撮影

本堤を施工した前回の工事から、現場を引き継ぎました。

⇒ 一部施工が残っていた左岸側の側壁を仕上げ、仮設水路を設置します。

⇒ 暖冬でしたが、現場は標高が約640mあるので、寒かったです。

⇒ 右岸側の法面掘削工を行い、法面対策工に着手します。



令和2年6月撮影



令和2年7月撮影



令和2年10月撮影



令和2年12月撮影

仮設の「とい工」が出来上がりました。「とい」で河川水を下流へ迂回させます。

⇒ 梅雨前線の降雨による出水で、現場が一部流されてしまいました。

⇒ 副堤部分の床掘削完了後、副堤の施工を行っています。

⇒ 副堤と右岸側の側壁のコンクリートを打設しています。

ツバタ沢砂防堰堤



令和3年2月撮影

◆工事現場よりごあいさつ◆

20ヶ月余りに渡り施工してきましたツバタ沢砂防堰堤の、副堰堤、側壁、水叩部がまもなく完成します。酷暑の夏、寒い冬を2回づつ経験し、新型コロナウイルス感染拡大防止の対策を行いながらも工事の完成にこぎ着けることができましたのは、地元の皆様、関係者のご理解とご協力の賜と信じています。この場をお借りして御礼申し上げます。どうもありがとうございました。

作業スペースが狭い現場なので、進捗がなかなか進まず出来高が上がらなかったり、令和2年7月には梅雨前線の降雨による出水で現場が流され、工程に手戻りが生じたりして、苦しいこともありましたが、今となってはいろいろ勉強できたかなと感じています。最後まで無事故で工事が完了するようが努めて参りますので、よろしくお願いします。

木下建設株式会社
 現場代理人 西村 光樹 監理技術者 平栗 浩二

遠山川砂防出張所の一節

「藤」の種です。

昔では、「鬼」に襲われて家族を失い、唯一生き残った妹を「鬼」にされてしまった心優しい主人公の少年が、家族の仇を討ち、妹を人間に戻すため「鬼」と戦うマンガが大ヒット中ですが、このマンガの中で「鬼」が嫌う苦手なものとして描かれている「藤」の木が出張所の敷地に生えています。いつ頃から生えているのか不明ですが、毎年5月頃に薄ピンク色の花が咲くので、目を楽ませてくれます。生命力が旺盛な樹齢を迎えているようで、沢山のつるが伸びるので、ケーブルなどに絡みつかないよう苦心しています。「藤」はマメ科の植物で、種はエンドウマメと同じようにサヤの中に入っています。このサヤを破って中の種を取り出そうとしましたが、皮が非常に固いのでカッターナイフを使用しても容易に取り出せません。種を風雨から守り、鳥などに食べられないようにしているのでしょう。さらにサヤの乾燥が進むと、サヤが自ら突然パチッと音をたててはじけ、種が想像するよりも遠くへ飛び散ります。種は黒の碁石を薄くしたようです。親木の根元に種が落ちにくいようにして、子孫繁栄を図っているのでしょうか、自然の生命力のたくましさを感じます。

遠山川砂防出張所 今村 俊裕



鞘（サヤ）が固い！



鞘（サヤ）がはじけた様子



種も固い！